

第34回 北九州いのちの電話 自殺予防シンポジウム

精神疾患をめぐっての社会的環境整備と自殺防止のために

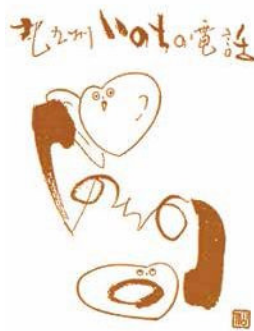
2012(平成24)年、年間自殺者数は15年ぶりに3万人を割りました。

国を挙げての様々な取り組みがようやく効を奏し始めたと言ってよいのかも知れません。その一方で気がかりなのは、若年層での自殺者が、増加傾向にあるとされる点です。特に大学生や高校生の自殺が昨年初めて1,000人を超えたということで、うつ病などの精神疾患の増加も伝えられています。

こうした、生きることに困難を感じている若年世代の、「追いこまれた死」からの脱出を支援するために、私たちにできることは何なのでしょう？

今回のシンポジウムでは、精神面での支援にスポットを当て、異なった角度から考える機会にしたいと思います。多くの方々のご参加を期待しています。

(参加者の方々には基調講演者 大野裕先生のご好意により小冊子『こころのスキルアップ・トレーニング』を差し上げます。)



とき **2013年7月13日 土**
13:00 ~ 17:00 (受付は12:30 ~)

**入場
無料**

定員 500名

※資料作成及び会場準備の都合がありますので、早めのお申し込みをお願いします。

ところ **ウエルとばた 3F 大ホール**

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1-6 JR九州 戸畑駅下車1分

基調講演



おおの ゆたか
大野 裕氏 (国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター長)

こころの健康を高める環境作りをめざして

—「若者の軽症うつ」「現代型うつ病」など、
社会に広がる安易なネーミングを批判的に総括しつつ—

座長 中村 純 教授 (産業医科大学)

2 シンポジウム

シンポジスト **藤野 善久氏** (産業医科大学 准教授)
(五十音順) **「産業医から見た課題」**

コーディネーター **富安 兆子氏**
(社会福祉法人北九州いのちの電話 副理事長 / 研修委員長)

丸岡 隆之氏 (黒崎中央医院 院長)
「開業医から見た課題」

三原 伊保子氏 (三原テイクケア+クリニックりぼん・りぼん 院長)
「若年女性の過食・拒食・ひきこもりへの対応」

主催 社会福祉法人 北九州いのちの電話

共催 北九州市、北九州市教育委員会、北九州市医師会、一般社団法人日本いのちの電話連盟
福岡県精神保健福祉協会、福岡県地域精神保健協議会、福岡県地域精神保健北九州ブロック協議会

後援 福岡県、公益財団法人日本精神神経学会、北九州商工会議所、九州旅客鉄道株式会社、
朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、FBS福岡放送、KBC九州朝日放送、
NHK北九州放送局、RKB毎日放送、TNCテレビ西日本、福岡県共同募金会 (ABC 順)



問合せ 社会福祉法人 北九州いのちの電話事務局へ 〒803-0835 北九州市小倉北区井堀 5-1-3 北九州パレス内

申込み はがき又はFAXでお受けします。
※裏に FAX 用紙があります。

詳しくは **TEL 093-652-6628 FAX 093-651-6595**

このチラシは、共同募金の配分金によって作成されたものです。

FAX 093-651-6595

2013年7月13日（土）
北九州自殺予防シンポジウム

FAXの方は、ご記入の上、北九州いのちの電話事務局までお送り下さい。

参加申込書 ※個人・団体グループ兼用です。

参加者①	参加者⑤
参加者②	参加者⑥
参加者③	参加者⑦
参加者④	参加者⑧
会社 / 団体名	
ご住所 〒 -	
電話 () -	
FAX () -	
携帯電話 () -	
Eメール @	
備考	

本申込書にていただいた個人情報は、講演会の開催以外の目的では使用いたしません。